

| No. | 公募名／助成団体 | 公募元リンク | 対象分野・テーマ等 | 掲載日 | 申請期限 |
|-------|------------------------------------|---|--|------------|-------------|
| R8-12 | 2026年度助成金応募／公益財団法人マリア財団 | https://maria-zaidan.org/news/jyosei_2026.html | <p>【助成対象】</p> <p>(1) 幼児・児童教育等に関する研究・実践を行っている個人・団体 (2) 原則として日本国内で研究・実践を行っている者 (3) 過去にこの助成を受けていない者</p> <p>申請者は、政府・民間の機関、団体または個人のいかんを問わないものとする ただし、同一の研究について他の財団の助成金等を受けていないことを原則とする</p> | 2026年6月5日 | 2026年11月30日 |
| R8-11 | 2026年度学術研究助成事業／公益財団法人全国銀行学術研究振興財団 | https://www.zenginzaidan.jp/youkou.html | <p>【助成対象】</p> <p>経済・金融およびこれらに関する法制に係る研究 具体的には、経済分野では、経済理論、経済統計学、経済政策、経済史、財政学、金融論およびこれらに準ずるもの 法律分野では、民法、商法、経済法、その他の金融・経済に関する法律 上記対象分野の隣接領域、関連領域等も対象とする</p> | 2026年6月2日 | 2026年8月31日 |
| R8-10 | 令和8年度第37回人工知能研究助成／公益財団法人中部科学技術センター | https://www.cstc.or.jp/business/ai-research.php | <p>【助成対象】</p> <p>人工知能及び関連技術分野（人工知能を活用した情報処理技術、情報通信技術等）の高度化に関する独創的な研究及び開発であって、次の各号に掲げるもの</p> <p>①産業発展・環境保全における技術高度化並びに生産性向上のための人工知能及びその利用技術に関する研究 ②医療・介護・教育・経済・法律等の知的支援に関する研究 ③画像・音声理解、ヒューマンインターフェイス、エンターテインメント、感性情報処理の高度化に関する研究 ④ロボットの感覚・運動・思考・知能・感情・インタラクション等に関する研究 ⑤インターネット・IoT・モバイルシステムの知的で安全な利用方法に関する研究 ⑥その他、人工知能の基礎及びその利用技術等に関する研究</p> | 2026年5月20日 | 2026年9月30日 |
| R8-9 | 2026年度第40回研究助成／公益財団法人大川情報通信基金 | http://www.okawa-foundation.or.jp/research-grants.html | <p>【助成対象】</p> <p>1. 基礎分野 2. 通信・ネットワーク・システム分野 3. 人工知能・脳科学分野 4. VR・AR・ロボット・知覚情報処理分野 5. バイオ・医療・ライフサイエンス分野 6. 教育・福祉・ウェルビーイング分野 7. 人文・社会科学分野 8. 応用分野 スマート社会（スマートアグリカルチャー、スマートグリッド、スマートモビリティ等）、スポーツ科学、レグテックなど、1～7に含まれないその他の応用分野</p> | 2026年4月24日 | 2026年7月10日 |

| No. | 公募名／助成団体 | 公募元リンク | 対象分野・テーマ等 | 掲載日 | 申請期限 |
|------|--|---|---|------------|------------|
| R8-8 | 2026年度第35回ヘルスリサーチ研究に関する研究助成／公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 | https://www.health-research.or.jp/content/ | <p>【助成対象】</p> <p>1. 国内におけるヘルスリサーチ領域の問題解決型の共同研究であること 下記の6つの重点分野以外でも、受け手の観点から最適な保健医療・福祉のシステムに資する研究であれば対象とする</p> <p>① 制度・政策に関する研究 ② 医療経済に関する研究 ③ 保健医療の評価に関する研究 ④ 保健医療サービスに関する研究 ⑤ 保健医療資源の開発に関する研究 ⑥ 医療哲学・医療倫理に関する研究</p> <p>2. 厚生労働科学研究費補助金が交付されている同一内容の研究課題に対しては、研究助成の対象としない 3. 生物医学的研究は、助成対象としない</p> | 2026年4月24日 | 2026年6月30日 |
| R8-6 | 2026年度研究助成／公益財団法人泉科学技術振興財団 | https://izumi-zaidan.jp/ja/grant1 | <p>【助成対象分野】</p> <p>高度機能性材料及びこれに関連する科学技術の基礎研究分野における、真に独自の発想に基づいた新しい研究</p> | 2026年4月16日 | 2026年6月15日 |
| R8-5 | 2026年度研究調査助成及び研究出版助成／公益財団法人日本証券奨学財団 | https://jssf.or.jp/researchgrant.html | <p>【助成対象分野】</p> <p>社会科学の各分野</p> <p>【助成対象者】</p> <p>日本の大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している55歳（本年4月1日現在）以下の研究者とする なお、グループ研究の場合、代表研究者以外の共同研究者は大学又は研究機関等（日本に限らない）に在籍する55歳（本年4月1日現在）以下の研究者とする また、区分制における博士課程に在籍する者及び一貫制博士課程における後期博士課程に在籍する者を共同研究者に加えることができる</p> | 2026年4月1日 | 2026年6月30日 |
| R8-3 | 2027年度「金融・資本市場のフロンティアを拓く研究助成」／公益財団法人野村財団 | https://www.nomurafoundation.or.jp/social/frontier_capital.html | <p>【助成対象】</p> <p>国内外の金融・資本市場に関する理論的研究、データ分析に基づく実証的研究、幅広い学問分野にまたがる学際的研究、海外の研究者も加えた国際的研究など、金融・資本市場の発展に資する画期的、意欲的な研究プロジェクトに対する助成</p> <p>【研究テーマ】</p> <p>金融・資本市場の未来を見据えた研究内容</p> | 2026年4月1日 | 2026年6月30日 |
| R8-2 | 2026年度研究費助成／公益財団法人中辻創智社 | https://nakatsujiff.org/programs/research-grant/ | <p>【助成対象分野】</p> <p>自然環境保全を担う生物学領域の中心的分野である生態学、分類学、及びこれらを支える基礎生物学</p> | 2026年4月1日 | 2026年6月10日 |

| No. | 公募名／助成団体 | 公募元リンク | 対象分野・テーマ等 | 掲載日 | 申請期限 |
|-------|--|---|--|-----------|------------|
| R8-1 | 2026年度グラフィック文化に関する学術研究助成／公益財団法人DNP文化振興財団 | https://www.dnpfcp.jp/foundation/grants/ | <p>【助成対象】 A部門（グラフィック文化全般をテーマとする学術研究） グラフィックデザイン・印刷・版画・写真等のグラフィック文化を対象とした、美術史学・デザイン史学・芸術学・美術教育学・視覚文化論・文化社会学等の学問領域における研究</p> <p>B部門（グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究） グラフィック文化に関係するアーカイブ構築を対象とした研究 たとえば、グラフィックデザイン・写真等のアーカイブ構築、史資料の新たな整理分類・公開の手法、データモデルに関する研究・実践等</p> | 2026年4月1日 | 2026年6月15日 |
| R7-50 | 高齢・地域共生社会助成／公益財団法人日本生命財団 | https://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/02.html | <p>「実践的研究助成」 A 実践的課題研究助成 【助成対象】 研究者または実践家</p> <p>B 若手実践的課題研究助成 【助成対象】 45才未満の研究者、または実践家 ※大学院博士課程在籍者も対象</p> | 2026年3月3日 | 2026年6月12日 |